

## 問 無電柱化の対応について

## 答 推進委員会を立ち上げ、官民で推進



津滝俊幸議員

【無電柱化について】

**問** 電柱や電線は山岳景観の妨げになると誰もが認識しているにも関わらず、遅々として進んでいないが、対応策は。

**村長** 昨年5月に白馬駅前景観が提出されており、村では大町建設事務所と共に長野県第7期無電柱化推進計画の策定に向けて白馬駅前周辺、国道148号及び県道白馬岳線を候補路線として関係書類を提出しました。電気業者は「地中化方式の共同溝以外の手法での無電柱化不可能」、通信業者は「豪雪地帯であることから裏配線方式は不可能、単独地中化区間の移転補償金が必要」、道路管理者の長

野県は「無散水消雪施設を撤去して地中化を実施することは難しいため、すぐには無理でも対応年数等、交換時期が来て状況が可能であれば施工する方向で考えたい」とのことです。

**問** 無電柱化の方法として金沢方式を取り入れた無電柱化推進委員会を立ち上げ、推進したらどうか。

**村長** 学識経験者や電線管理者、村民等から構成された推進委員会を立ち上げ、村民への理解をはかるワークショップの開催や、無電柱化のモデル地区選定、新設電柱を原則禁止する条例化などを積極的に検討します。

【人口減少社会への対応について】

**問** 人口減少対策を国や県も最重要課題として取り組んでいる。あらゆる分野へ影響を及ぼすが、対応は。

**村長** 労働生産人口減少による税収減は住民サービスの

質にも直結する問題であり、若者定住促進や通年雇用の場の提供等の施策推進に取り組みます。雇用の受け皿となる観光産業については白馬村観光地経営計画を策定し、施策検討します。

**問** 地域の担い手や人手不足により、文化伝承や冠婚葬祭、区の作業などに支障をきたす状況。補助金だけでは解決されない問題であり、今後の地域コミュニティの維持対策は。

**村長** 地域間の連携による交流活動を通して、地区を越えた新たな地域の仕組みづくりも必要であると考えます。

**問** 新規住民登録者へ村長名で歓迎メッセージカードを送っては。

**村長** 前向きに検討し取り組みたいです。

【人事評価制度導入と行政組織活性化について】

**問** 本年4月の地方公務員法改正で、人事評価制度により能力や実績に基づく人事管



電線地中化 ビフォーアフター

理の徹底をはかる事がうたわれた。制度導入や人材育成、研修の取組は。

**村長** 人事評価の規定等の整備を進め、評価者の研修や職員への説明、協議、周知を行い、試行期間を経て本格実施へ繋げていきたいです。全職員対象の実践コンプライアンス研修、新人職員の行政一般研修、職場管理の係長級の研修、効率的な事務処理能力向上のための研修など行っています。

**問** 観光局や振興公社などの外部組織を活性化するためのブランドデザイン(方向性)は。

**村長** 局には民間の自立した自主的な活動に期待をし、公社は山小屋経営など民間経営感覚といっても難しいので、それぞれ関係機関等と協議し、新たな方向性を模索していきたいです。